平成 25 年 12 月 6 日

国際石油開発帝石株式会社

インドネシア共和国 マハカム沖鉱区トゥヌガス田における開発井からのガス漏れについて[第二報]（お知らせ）

平成 25 年 11 月 8 日にお知らせしましたマハカム沖鉱区トゥヌガス田における開発井からのガス漏れにつきまして、プロジェクトオペレーターのトタール社からの情報によると、現在のところ判明している状況は以下の通りです。

・トタール社は、ガス漏れを確認後、直ちにトタール本社から危機対応チームを現場に動員しました。同チームは、現場の状況調査を行い、現場の安全確保のため、開発井作業リグを現在の位置から離脱させるべく、総合的な対処方針を検討中です。

・事故発生箇所周辺の安全を確保する目的で近隣の 5 坑井（生産井）の生産を確実に停止するための作業を完了しています。

・トタール社は、現在、開発井作業リグの離脱準備作業に取り組んでおり、リグ用燃料およびリグ上に堆積していた砂（リークしたガスに伴って地層から噴出した砂）の撤去作業が完了しています。今後は、掘削パイプを切断し、リグのバラストの解除作業を行う予定です。

・トタール社は、関連するインドネシア政府当局および近傍村民の方々と緊密な連携をとりながら、状況説明と報告を行っています。

・既報の通り、109 人の全乗組員が安全に避難しており、人的な被害は報告されておりません。また原油の漏洩も確認されておりません。

・本件によるマハカム沖鉱区のガス生産への影響は限定的です。

今後もトタール社と連携しつつ、同社からの更新情報が入りましたら、逐次お知らせいたします。

以上

【本件に関する問い合わせ】
国際石油開発帝石株式会社　　広報・IR ユニット　　03-5572-0233